

# 第52期中間報告書

2012.10.1 - 2013.3.31

INATOR CREATIVE  
MARKETING  
COORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR  
CREATIVE  
MARKETING  
COORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR  
CREATIVE  
MARKETING  
COORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR  
CREATIVE  
MARKETING  
COORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR



Creative  
Marketing  
Coordinator  
株式会社 シイエム・シイ

本 社  
〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号  
TEL (052) 322-3351 (代表)

<http://www.cmc.co.jp/>

株式会社 シイエム・シイ

証券コード: 2185

## 心動かすマーケティング。

お客さま企業の「売る気づくり」「買う気づくり」「満足づくり」をサポートする3つのマーケティング活動をワンストップ・ソリューションとしてご提供するとともに、最新のICT\*を融合させ、お客さま視点での満足度を追求した付加価値の高いサービスを提供いたします。

+ ICT  
膨大な文書データ・  
製品情報の管理

+ ICT  
スマートデバイスを  
活用した販売支援

+ ICT  
マニュアル編集効率化  
アプリケーションのご提供

お客さま企業のニーズにこたえ、ICTを駆使したソリューションをご提供しております。

※ ICT:Information and Communication Technology

### 当社開発商品のご紹介

Smart XML Creator® スマートデバイス対応 コンテンツ作成ツール

ドキュメントをスマートに。

構造化文書をデータベース管理。

編集・翻訳・アウトプットも最新メディアに合わせて、思いのままに。

- スマートフォン&タブレットでの情報配信
- 音声による対話型検索の実現
- 各言語への翻訳対応を実現

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 佐々 幸恭

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社は昨年創立50周年を迎えさせていただきました。皆様のご支援への感謝を忘れず、今後も更なる発展と企業価値の向上をめざしてまいります。

スマートデバイスやビッグデータなどICTに関連したキーワードが社会の耳目を集めている昨今、当社におきましても、従来のサービスを補完すべく、積極的な取り組みを推進いたしております。また、お客さま企業のグローバル展開をサポートするため、当社の海外対応力の強化につきましても、鋭意進行中であります。

さて、ここに当社グループ第52期第2四半期連結累計期間(2012年10月1日から2013年3月31日まで)の事業概況についてご報告させていただきます。

### 主力の修理書・使用説明書について、中国の影響・案件の減少などがあり、収益減

当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,180百万円(前年同期比418百万円減、同5.5%減)、営業利益は370百万円(前年同期比373百万円減、同50.2%減)、経常利益は407百万円(前年同期比359百万円減、同46.8%減)、四半期純利益は204百万円(前年同期比157百万円減、同43.5%減)となりました。

売上高につきましては、エクスターナル・マーケティングにおいて、自動車関連分野のブランド浸透施策案件の増加、医療関連分野におけるスマートデバイス対応の販促案件の増加、住宅関連分野における販促イベント案件の増加などがあった

ものの、インターナル・マーケティングにおいて、自動車関連分野における技術教育施策案件や業務支援システム案件の減少、金融関連分野における業務支援施策案件の減少などがあったほか、主力のカスタマーサポート・マーケティングにおきましても、前期好調であった自動車関連分野の修理書・使用説明書について、中国を仕向地とするものを中心に案件の減少などがあり、上記の結果となっております。

利益面につきましても、得意分野であるカスタマーサポート・マーケティングの売上高の減少および売上総利益率低下の影響があり、前年同期比減少の結果となりました。

## 事業分類

マーケティング事業 株式会社シイエム・シイ、丸星株式会社、Maruboshi Europe B.V.、広州国超森茂森信息科技有限公司

### インターナル・マーケティング Internal Marketing

お客さま企業の従業員を

**「売る気にさせる」**

スタッフのセールス・サービス業務の標準化や、  
商材教育・販売教育・技術教育等の企画・運営

### エクスターナル・マーケティング External Marketing

お客さま企業の商材を魅力的に訴求し、消費者を

**「買う気にさせる」**

販売促進や広告宣伝、広報等の企画・運営

### カスタマーサポート・マーケティング Customer Support Marketing

お客さま企業の商材を購入いただいた方に

**「満足していただく」**

使用説明書や修理書等、技術情報の企画・制作・編集および翻訳

### トータルプリンティング Total Printing

お客さま企業の商材に関するマニュアルに特化した

**「印刷サービスを提供する」**

使用説明書や修理書等の印刷・製本・加工

### その他 Other

コンビニエンスストア店舗経営等

システム開発事業 株式会社CMC Solutions

お客さま企業のICT\*に関する課題解決を

**「トータルで支援する」**

システムに関するコンサルテーション・構築・運用サポート

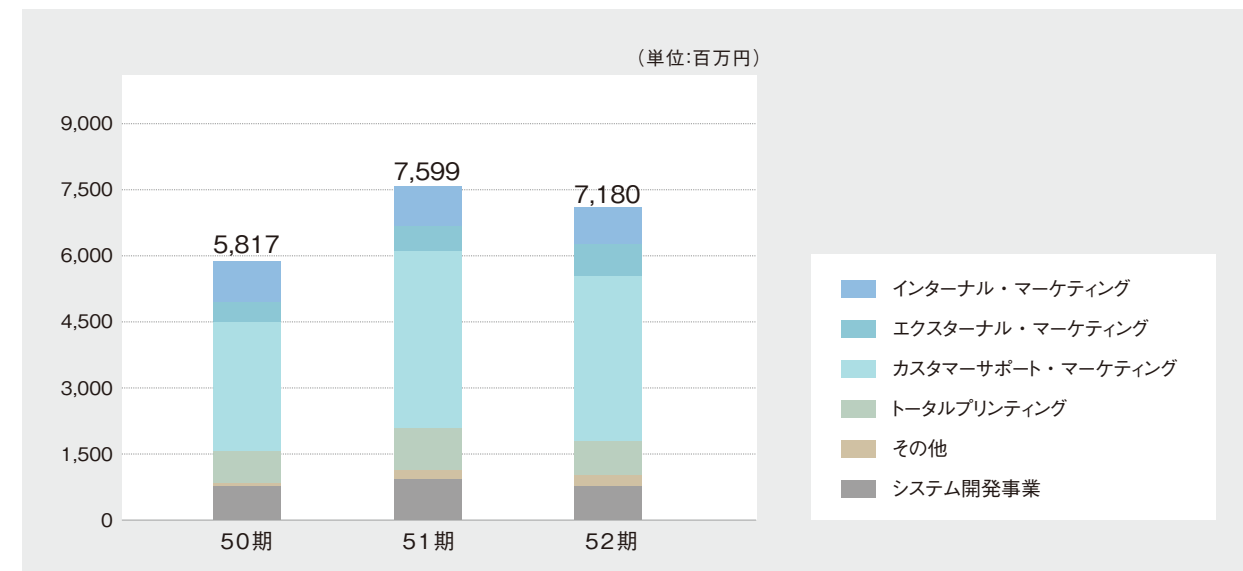
\* ICT:Information and Communication Technology

第2四半期連結累計期間 事業分類別売上高推移

(単位:百万円)

	50期		51期		52期	
	売上高	割合	売上高	割合	売上高	割合
インターナル・マーケティング	905	15.6%	949	12.5%	846	11.8%
エクスターナル・マーケティング	440	7.6%	539	7.1%	703	9.8%
カスタマーサポート・マーケティング	2,896	49.8%	4,114	54.1%	3,839	53.5%
トータルプリンティング	713	12.3%	855	11.3%	803	11.2%
その他	96	1.7%	223	2.9%	239	3.3%
マーケティング事業	5,053	86.9%	6,682	87.9%	6,431	89.6%
システム開発事業	763	13.1%	916	12.1%	748	10.4%
合計	5,817	100.0%	7,599	100.0%	7,180	100.0%

(単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 業績の状況

## ■ マーケティング事業

売上高 **6,431**百万円 営業利益 **444**百万円

インターナル・マーケティングは、自動車関連分野における技術教育施策案件や業務支援システム案件の減少、金融関連分野における業務支援施策案件の減少の影響などにより、売上高は846百万円(前年同期比103百万円減、同10.9%減)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、自動車関連分野におけるブランド浸透施策案件の増加、医療関連分野におけるスマートデバイス対応の販促案件の増加、住宅関連分野における販促イベント案件の増加などがあり、売上高は703百万円(前年同期比163百万円増、同30.3%増)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、工作機械分野における使用説明書の案件増加があったものの、自動車関連分野において前期好調であった修理書・使用説明書について、中国を仕向地とするものを中心に案件の減少などがあり、売上高は3,839百万円(前年同期比275百万円減、同6.7%減)となりました。

トータルプリンティングは、修理書・使用説明書の印刷が減少し、売上高は803百万円(前年同期比51百万円減、同6.0%減)となりました。

その他については、コンビニエンスストア売上、丸星株式会社の業務委託等があり、売上高は239百万円(前年同期比16百万円増、同7.2%増)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は6,431百万円(前年同期比251百万円減、同3.8%減)、営業利益は444百万円(前年同期比377百万円減、同46.0%減)となりました。

## ■ システム開発事業

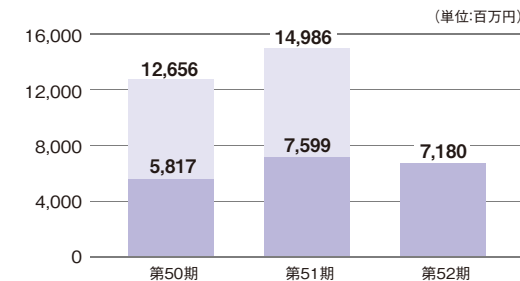
売上高 **748**百万円 営業利益 **15**百万円

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の減少にともない、売上高は748百万円(前年同期比167百万円減、同18.3%減)となりました。営業利益は15百万円(前年同期比5百万円増、同49.9%増)となりました。

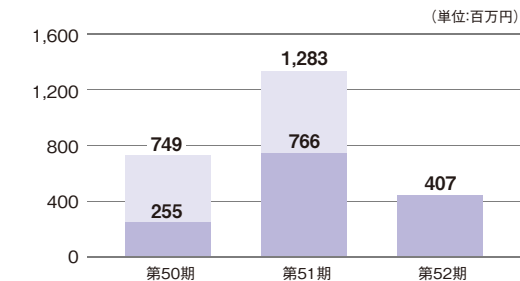
## 財務ハイライト(連結)

■ 中間期 ■ 通期

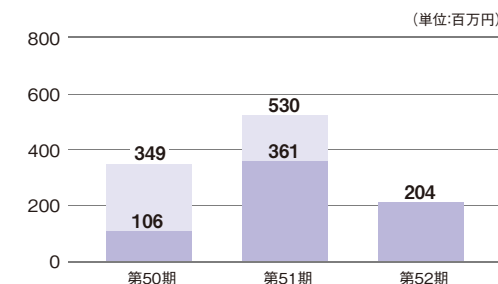
## ■ 売上高



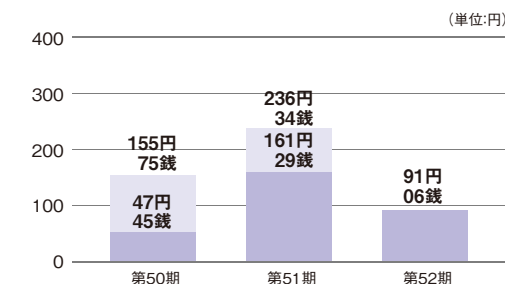
## ■ 経常利益



## ■ 四半期(当期)純利益



## ■ 1株当たり四半期(当期)純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## Point

売上高については、中国の影響・案件の減少などがあり、カスタマーサポート・マーケティングを中心に減少いたしました。利益面におきましても、本分野における減収および利益率の低下があり、前期比減益の結果となりました。

## ■ 1株当たり配当金

実績				予定
2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
40円	60円	60円	70円	70円

2013年9月期の配当金は、普通配当70円を予定しております。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期末 (2013年3月31日現在)	前期末 (2012年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,044	7,022
固定資産	5,088	5,084
有形固定資産	2,785	2,793
無形固定資産	1,232	1,292
投資その他の資産	1,069	998
<b>資産合計</b>	<b>12,132</b>	<b>12,107</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,421	2,621
固定負債	1,030	957
<b>負債合計</b>	<b>3,451</b>	<b>3,578</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,603	8,538
資本金	529	529
資本剰余金	443	443
利益剰余金	7,630	7,565
自己株式	▲0	▲0
その他の包括利益累計額	72	▲9
少数株主持分	5	—
<b>純資産合計</b>	<b>8,681</b>	<b>8,528</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,132</b>	<b>12,107</b>

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期 2012年10月1日から2013年3月31日まで	前第2四半期 2011年10月1日から2012年3月31日まで
売上高	7,180	7,599
売上原価	5,133	5,264
<b>売上総利益</b>	<b>2,046</b>	<b>2,334</b>
販売費及び一般管理費	1,676	1,590
<b>営業利益</b>	<b>370</b>	<b>743</b>
営業外収益	38	25
営業外費用	0	1
<b>経常利益</b>	<b>407</b>	<b>766</b>
特別利益	3	1
特別損失	0	7
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>411</b>	<b>760</b>
法人税、住民税及び事業税	187	375
法人税等調整額	19	23
法人税等合計	207	399
<b>四半期純利益</b>	<b>204</b>	<b>361</b>

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期 2012年10月1日から2013年3月31日まで	前第2四半期 2011年10月1日から2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲306	794
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲353	▲283
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲178	▲136
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	▲24
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	▲818	350
現金及び現金同等物の期首残高	3,599	2,162
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	29	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,811	2,512

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

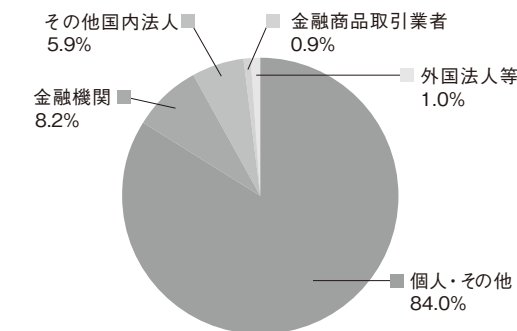
## 企業情報・株主メモ

(※企業情報は2013年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	7,970,000株
発行済株式の総数	2,243,322株 (自己株式数278株を除く)
株主数	951名

### 株式の分布状況



### 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
佐々 香予子	468,600	20.9
林 幹治	287,110	12.8
シイエム・シイ従業員持株会	285,180	12.7
林 史子	110,000	4.9
トヨタ自動車株式会社	100,000	4.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	2.7
株式会社三井住友銀行	40,000	1.8
鷲尾 美里	36,600	1.6
龍山 真澄	32,500	1.4
佐々 優	30,000	1.3
第一生命保険株式会社	30,000	1.3

※持株比率は、自己株式278株を控除して算出しております。

### 会社概要

商号	株式会社シイエム・シイ
英訳名	CMC CORPORATION
本社所在地	〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号 TEL(052)322-3351 FAX(052)322-9548
設立	1962年5月
資本金	5億2,977万円
従業員	連結770名 単体431名
上場市場	大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)

### 役員

取締役会長	林 幹治
代表取締役社長 代表執行役員	佐々 幸恭
取締役執行役員副社長	関 誠
取締役常務執行役員	小林 淑記
取締役執行役員	成田 克己
取締役(非常勤)	龍山 真澄
常勤監査役	小泉 増明
監査役(社外、非常勤)	深見 裕康
監査役(社外、非常勤)	後藤 武夫
常務執行役員	棚橋 幸太郎
常務執行役員	田島 龍司
常務執行役員	近藤 幸康
常務執行役員	窪田 宏
執行役員	奥田 憲二
執行役員	村杉 満

### 連結対象子会社

株式会社CMC Solutions(名古屋市中区)  
丸星株式会社(横浜市西区)  
Maruboshi Europe B.V.(オランダ アムステルダム)  
広州国超森茂森信息科技有限公司(中国 広州)

### 拠点所在地

[ 海外(14拠点) ]  
シンガポール、アメリカ合衆国(ロサンゼルス)、  
中華人民共和国(広州2拠点、北京2拠点、上海)、オランダ(アムステルダム)、  
フランス(ベルサイユ)、ポーランド(ワルシャワ)、  
タイ(バンコク2拠点)、台湾(台中、台北)  
[ 国内(8拠点) ]  
名古屋市中区2拠点・中川区、愛知県日進市・豊橋市、東京都中央区、  
大阪市西区、横浜市西区

### 株主メモ

証券コード	2185
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会・期末配当: 毎年9月30日 中間配当: 毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 <a href="http://www.cmc.co.jp/">http://www.cmc.co.jp/</a>

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。